

PC等の汎用端末上でソフトウェアによりIP電話機能を実現するソフトフォン端末の認証方法を検討

○PC等の端末機器上で動作することを前提としたアナログ電話相当の通話機能（ソフトフォン）は、端末機器にインストールされて初めて利用できる機能であることから、端末機器と一体的に「ソフトフォン端末」として認証することが適当。

○ソフトフォン端末については、通常のIP電話端末と同等の技術的条件及びソフトウェア固有の追加的条件（電磁的な表示）を担保することが適当。

認証方法

○認証取扱業者（メーカ等）は、汎用機器（ソフトフォンが正常に動作するスペックのPC本体・OSの組み合わせ）を用いてIP電話端末の機能につき試験を行い、ソフトフォンが正常に動作する組み合わせの機器について認証を取得（E 端末）

○総務省は組合せの条件等を公示

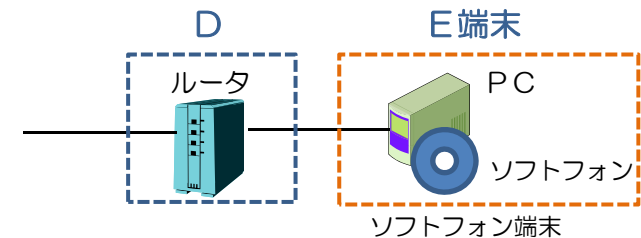
○また、要求される条件等が、説明書や利用許諾書、電磁的に表示される画面上等に明記され、使用者が容易に確認できることが必要

○認証取扱業者は、ダウンロードされたソフトフォンが端末機器に適切にインストールされ正常に動作しているか、遠隔等にて確認を行い、確認結果を検査記録として保存（設計合致義務）

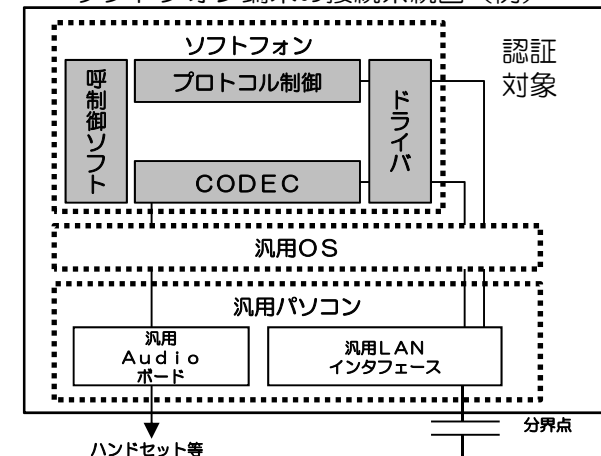
○バージョンアップは認証取扱業者が管理。認証設計に変更を及ぼすバージョンアップを行う場合は、再度認証を取得した上で、ダウンロード等により新たな表示を当該機器に付す

※ 認証で必要となる事項の詳細については、ガイドラインの策定が望ましい。

※ 端末機器上の動作環境によっては、本来の性能が出ないことがある旨、ソフトフォンの利用許諾、ソフトフォンの取扱説明書あるいはサービス利用約款に明記。



ソフトフォン端末の接続系統図（例）



認証で必要となる基準／事項のイメージ

PC関連

① 外観

汎用PCの一般的なソフトフォン端末の外観をタイプ別に表示（デスクトップ／ノートブック／PDC等）
特殊形状のものは外観図を添付

② 性能

必要なCPUの動作速度は、インテル Core2 Duo プロセッサ2GHz相当以上
必要なメモリの容量は、2GHz以上
必要なHDDの空き容量は、100MB以上

OS関連

Microsoft Windows Vista

ソフトフォン関連

ソフトフォンの設計図、接続系統図、ブロック図